４　検討事項　（２）令和４年度アンケートの実施について

３　教職員向けアンケート

備考

(1)　あなたの所属や担当を選択してください。

ア	学校名	
イ	担当学年	
ウ	担当教科	

(2)　学校の授業等で、次のアプリやサービスを児童生徒にどのくらい使用させていますか。

		ほぼ毎日	週に３～４回	週に１～２回	ほぼ使わない	使っていない	アプリの活用頻度把握のための設問
ア	デジタル配信　授業で使う学習プリント等						
イ	〃　学級通信						
ウ	〃　学年通信						
エ	〃　学校だより						
オ	指導者デジタル教科書						R4前期追加予定
カ	ドリルパーク						
キ	〃　宿題						
ク	〃　朝学習						
ケ	〃　授業の少し空いた時間等での活用						
コ	オクリンク						
サ	ムーブノート						
シ	ジャムボード						R4前期追加予定
ス	インターネットでの検索・調べ物など						
セ	画像や動画の撮影アプリ（カメラ含む）						
ソ	NHK for Schoolの動画視聴						

		授業等で頻繁に	日常的に持ち帰り	長期休業持ち帰り	持ち帰りなし	使っていない
タ	キーボードの活用					

(3)　学校の授業等におけるタブレット活用で効果的と感じるのはどのようなことですか。

		とても思う	そう思う	あまり思わない	全く思わない	使っていない	教師が授業等でのICTの効果をどのように捉えているか把握するための設問
ア	ドリルパークなどを使って、自分のやりたい内容やペースで学習ができるようになる。						基本方針A導入期②、C①
イ	オクリンクやムーブノート、ジャムボードなどを使って、友達の考えなどから自分の考えをより深められる。						基本方針A充実期① R4前期文言追加予定
ウ	分からないことも、インターネットで検索してすぐに調べられる。						
エ	道徳や学活などの学習の中で、タブレットの上手な使い方やルールが分かるようになる。						基本方針B充実期②
オ	必要な時に、写真やビデオを撮影して保存しておいたり、後で見直したりできる。						基本方針A導入期①
カ	タブレットでお絵描きや演奏・曲づくりなどを行うことを通して、創造力を育むことができる。						基本方針A発展期①B発展期②
キ	学習プリントや資料、ワークシートなどをデジタルデータとして配信・回収できる。						基本方針A導入期①
ク	ビデオ会議を使えば、学校以外の人のいろいろな話を聞くことができる。						基本方針A充実期②発展期①
ケ	授業の中でプログラミングを行うことで、簡単なプログラミングの仕組みが分かる。						基本方針B充実期②

資料６－３

(4)　1人1台タブレットの導入により、校務で効果的と感じるのはどのようなことですか。

		とても思う	そう思う	あまり思わない	全く思わない	使っていない	教師が校務の効率化でのICTの効果をどのように捉えているか把握するための設問
ア	ドリルパークの活用により、自動採点ができる。						基本方針D充実期①
イ	ドリルパークなどで宿題を出すことで、準備や印刷等の手間が省ける。						基本方針D充実期①
ウ	ミライシードの活用により、学習への取組状況が分かりやすくなる。						基本方針A導入期②、D充実期②
エ	クラスルームの活用により、配布物等の印刷や配布の手間が省ける。						基本方針D導入期①
オ	従来、紙で配布していた各種アンケートをフォームへの置き換えを行うことで、集計の手間が省ける。						基本方針D導入期②
カ	研修への参加や家庭とのやり取りをオンラインで行うことで、時間の効率化を図ることができる。						基本方針D発展期①

(5)　家庭でのタブレット活用で効果的と感じるのはどのようなことですか。

		とても思う	そう思う	あまり思わない	全く思わない	使っていない	教師が家庭でのICTの効果をどのように捉えているか把握するための設問
ア	ドリルパークで宿題を出すと、授業で習ったことの復習がよくできるようになる。						基本方針C導入期①
イ	ドリルパークやオクリンク・ムーブノートで宿題を出すと、今までの宿題よりしっかりと取り組めるようになる。						基本方針C導入期①
ウ	ドリルパークなどを使って、自分のやりたい内容の自主勉強に進んで取り組めるようになる。						基本方針C導入期①発展期①
エ	タブレットを使った作品作り（お絵描きや演奏・曲づくり、プログラミングなど）で創造力を育める。						基本方針A発展期①、B発展期②

オ	ドリルパークについて当てはまると思うものを全て選んでください。	
	問題が多すぎる	
	問題が少なすぎる	
	簡単な基本問題が多いので、難しい応用問題がもっとあるとよい	
	難しい応用問題が多いので、簡単な基本問題がもっとあるとよい	
	長文問題や記述式問題など、思考力が必要な問題がもっとあるとよい	
	一問一答式ではなく、大問の中にいくつか問題があるような出題形式がもっとあるとよい	
	漢字練習でよく使用させている	